

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	荏原文化センター									
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	0	8
事業所等の所在地	〒	1	4	2	-	0	0	5	3	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	5,125.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=①×0.0258)		296	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	574	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	10	t
	総計(④=②+③)	584	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	112.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ④	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×41/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	98,343.6	45.00	4,425.5	0.014	220.7
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	724,358.0	9.76	7,069.7	0.489	354.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計							⑪ 11,495.2		⑪ 574.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	15,738.0			0.251	4.0
	公共下水道		☐	m ³	15,738.0			0.439	6.9
合 計								⑪	10.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑧}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101 B105	自ら入手可能な情報に基づく把握 エネルギー使用量の前年度比較	B103 B104 B106	時間的に詳細に把握 設備ごとに詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101 C109	空室・不在時等のこまめな消灯 空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101 D103 D104 D106	ランプ等の定期的な清掃・交換 中央熱源機器等の定期点検の実施 空調フィルターの清掃・点検 ボイラ等の定期点検の実施	D102 D105 D107	セントラル空調のフィルター清掃 換気フィルターの清掃・点検 ボイラ等の空気比の調整
	設備導入対策			E104 E109 E127 E122	照明点灯範囲の細分化 空調の冷温水配管の保温の実施 蒸気バルブ等の断熱強化 給湯の温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

選択肢超過: B107、E139 特記事項①省エネのため、毎週水曜日をノー残業デーとして、区職員の一斉退庁の実施。
 ②職員によるエレベータ利用の自粛、③講習室等に扇風機を設置し、空調設備(エアコン等)の使用制限、④照明灯の
 間引き、⑤ノートパソコン画面の明るさ軽減。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東品川文化センター		
事業所番号	A 0 9 3 1	-	0 0 0 9
事業所等の所在地	〒 1 4 0 - 0 0 0 2	区市町村名	東京都品川区
事業所等の延床面積	4,224.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 2 1 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		1	183	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	354	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	11	t
	総計(④=②+③)	4	365	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	83.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧)×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	93,377.9	45.00	4,202.0	0.014	209.5
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌18時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	297,344.0	9.76	2,902.1	0.489	145.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑫ 7,104.1		⑬ 354.9
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	16,582.7			0.251	4.2
	公共下水道	☐	m ³	16,582.7			0.439	7.3
合 計								⑭ 11.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E112	空調用高効率冷凍機の採用

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無						
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

①職員によるエレベーター利用の自粛 ②照明灯の間引き
③冷暖房機の使用制限

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	旗の台文化センター		
事業所番号	A 0 9 3 1	-	0 0 1 0
事業所等の所在地	〒 1 4 2 - 0 0 6 4	区市町村名	東京都品川区
事業所等の延床面積	2,785.00 m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 2 1 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑩×0.0258)		53	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑬)	102	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑭)	2	t
	総計(④=②+③)	104	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	36.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧)×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	8,124.7	45.00	365.6	0.014	18.2
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌朝8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	173,065.0	9.76	1,689.1	0.489	84.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合 計					2,054.7		102.9
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	4,187.0			0.251	1.1
	公共下水道	☐ m ³	4,187.0			0.439	1.8
合 計							2.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101 B105	自ら入手可能な情報に基づく把握 エネルギー使用量の前年度比較	B104 B106 B107	設備ごとに詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102 C104 C115 C117	照明スイッチに点灯範囲を表示 採光を利用した消灯の実施 事務用機器を業務終了時に停止 便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101 D104	ランプ等の定期的な清掃・交換 空調フィルターの清掃・点検	D105 D108	換気フィルターの清掃・点検 その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E104 E105	照明点灯範囲の細分化 照明用人感センサの採用

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

- ①エントランス、通路等の照明間引き
②照明等の間引き

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	品川歴史館						
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0 0 1 1
事業所等の所在地	〒	1	4	0	-	0 0 1 4	区市町村名 東京都品川区
	町名番地 以下	大井6-11-1					
事業所等の延床面積	2,426.00	m ²	事業所等の実績年度の エネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有						
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)						
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他						
日本標準産業分類 における細分類番号	8	2	1	3	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当	
前年度の報告内容 からの変更点							

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		66	kl
二酸化炭素 排 出 量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	128	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	0	t
	総計(④=②+③)	128	t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	52.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計 の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧×⑨)×44/12
燃料 及び 熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	263,148.0	9.76	2,568.3	0.489	128.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合 計						2,568.3		128.7
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	918.0			0.251	0.2
	公共下水道	☐	m ³	918.0			0.439	0.4
合 計								0.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E122	給湯の温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分			ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%		
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)			kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t		
	その他	特記事項に内容を記載							

6 特記事項

照明灯の削減を実施した。
歴史館事業で講堂等を利用する時は、開始直前まで照明の点灯数を減らした。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	荏原平塚総合区民会館(スクエア荏原)		
事業所番号	A 0 9 3 1 - 0 0 7 1		
事業所等の所在地	〒 1 4 2 - 0 0 6 3	区市町村名	東京都品川区
	町名番地 以 下	荏原4-5-28	
事業所等の延床面積	8,724.00 m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類 における細分類番号	9 5 1 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容 からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		1	273	kl
二酸化炭素 排 出 量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	529	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	8	t
	総 計(④=②+③)	4	537	t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑦=②×1000/事業所等の延床面積)	5	60.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計 の 使用	単位	使用量 ④	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(④/1000)×⑥	二酸化炭素排出量	
							排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧×⑨)×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス	☐	Nm ³	66,633.4	45.00	2,998.5	0.014	149.5
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	777,245.4	9.76	7,585.9	0.489	380.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合 計						10,584.4		529.6
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	12,004.0			0.251	3.0
	公共下水道	☐	m ³	12,004.0			0.439	5.3
合 計								8.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置		
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E105	照明用人体感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E130	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

選択欄超過:E139,141

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	総合体育館		
事業所番号	A 0 9 3 1	-	0 0 1 2
事業所等の所在地	〒 1 4 1 -	0 0 2 2	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	7,908.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 0 4 2	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	232	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	450	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	456	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑦=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	56.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ④	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(④/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧/1,000)×⑨
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	76,439.2	45.00	3,439.8	0.014	171.5
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) ☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時) ☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	570,081.0	9.76	5,564.0	0.489	278.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑪	9.76	⑫	0.489	⑬
合 計					⑭ 9,003.8		⑮ 450.3
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	8,748.0			0.251	2.2
	公共下水道	☐ m ³	8,748.0			0.439	3.8
合 計							⑯ 6.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A211	所内で温暖化対策情報の提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C119	自動販売機の不要時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人体感センサの採用
				E136	デマンドコントローラの設定

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

- ①パソコン画面の明るさ調節および省エネモードでの使用
 ②自動ドアの停止(1ヶ所)

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	戸越体育館		
事業所番号	A 0 9 3 1	—	0 0 1 3
事業所等の所在地	〒 1 4 2 — 0 0 4 2	区市町村名	東京都品川区
	町名番地以下	豊町2-1-17	
事業所等の延床面積	2,524.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 0 4 2	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	52	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	102	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	103	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	40.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ④	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=③×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	1,985.5	45.00	89.3	0.014	4.5	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	200,473.0	9.76	1,956.6	0.489	98.0	
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計							⑬	2,046.0	⑭	102.5
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	1,867.0			0.251	0.5	
	公共下水道		☐	m ³	1,867.0			0.439	0.8	
合 計									⑮	1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A211	所内で温暖化対策情報の提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策			C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C119	自動販売機の不要時の停止
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

①よしずを設置し、室内の気温上昇を抑止

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東品川保育園		
事業所番号	A 0 9 3 1	-	0 0 1 6
事業所等の所在地	〒 1 4 0 - 0 0 0 2	区市町村名	東京都品川区
事業所等の延床面積	1,323.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 3 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		1	32	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	63	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	3	2	t
	総計(④=②+③)	4	65	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	47.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧)×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	6,600.3	45.00	297.0	0.014	14.8
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	100,384.0	9.76	979.7	0.489	49.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫
合 計					⑬	1,276.8	⑭
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	4,294.0			0.251	1.1
	公共下水道	☐ m ³	4,294.0			0.439	1.9
合 計							⑮

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無						
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

・エアコンの使用時間を短くし、扇風機や外気導入で温度を調節する。

・エアコンを使用する場合は温度設定を節減。

・衛生管理に注意した上で洗濯物の少量化と回数の削減

・ジェットタオル使用中止

・園児の数により部屋をまとめる

・遮光スクリーンの活用

・プールの水を使った打ち水

※子どもの安全確保を優先する

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東大井保育園		
事業所番号	A 0 9 3 1	-	0 0 2 2
事業所等の所在地	〒 1 4 0 - 0 0 1 1	区市町村名	東京都品川区
事業所等の延床面積	1,241.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 3 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑨×0.0258)		31	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	61	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	2	t
	総計(④=②+③)	63	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	49.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	4,981.2	45.00	224.2	0.014	11.2
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐ kWh	102,726.0	9.76	1,002.6	0.489
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計					⑬	1,226.8	⑭
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	3,218.0			0.251	0.8
	公共下水道	☐ m ³	3,218.0			0.439	1.4
合 計							⑮

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省 エ ネ ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年 대비)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

- ・エアコンの使用時間を短くし、扇風機や外気導入で温度を調節する。
 - ・エアコンを使用する場合は温度設定を節減。
 - ・衛生管理に注意した上で洗濯物の少量化と回数の削減
 - ・園児の数により部屋をまとめる
 - ・グリーンカーテン、遮光スクリーンの活用
 - ・プールの水を使った打ち水
- ※子どもの安全確保を優先する

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	中原保育園									
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	4	5
事業所等の所在地	〒	1	4	2	-	0	0	6	2	区市町村名 東京都品川区
	町名番地以下	小山1-4-1								
事業所等の延床面積	1,308.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=③×0.0258)		30	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	59	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	2	t
	総計(④=②+③)	61	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	45.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧×⑨)×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	7,322.4	45.00	329.5	0.014	16.4
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	88,939.0	9.76	868.0	0.489	43.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合 計						1,197.6		59.9
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,053.0			0.251	0.8
	公共下水道	☐	m ³	3,053.0			0.439	1.3
合 計								2.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策			C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備導入対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

- ・エアコンの使用時間を短くし、扇風機や外気導入で温度を調節する。
 - ・エアコンを使用する場合は温度設定を節減。
 - ・衛生管理に注意した上で洗濯物の少量化と回数の削減
 - ・ジェットタオル使用中止
 - ・園児の数により部屋をまとめる
 - ・グリーンカーテン、遮光スクリーンの活用
 - ・プールの水を使った打ち水
- ※子どもの安全確保を優先する

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東五反田保育園		
事業所番号	A 0 9 3 1	-	0 0 5 1
事業所等の所在地	〒 1 4 1 - 0 0 2 2	区市町村名	東京都品川区
事業所等の延床面積	918.00 m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 3 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	30	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	58	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	1	t
	総計(①=②+③)	④	59	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	63.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ④	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(④/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	5,872.4	45.00	264.3	0.014	13.2		
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	93,570.0	9.76	913.2	0.489	45.8		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	1,177.5		⑮	58.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,743.0			0.251		0.7	
	公共下水道		☐	m ³	2,743.0			0.439		1.2	
合 計									⑯	1.9	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

- ・エアコンの使用時間を短くし、扇風機や外気導入で温度を調節する。
 - ・エアコンを使用する場合は温度設定を節減
 - ・衛生管理に注意した上で洗濯物の少量化と回数の削減
 - ・園児の数により部屋をまとめる
 - ・グリーンカーテン、遮光スクリーンの活用
 - ・プールの水を使った打ち水
- ※子どもの安全確保を優先する

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	大井倉田保育園						
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0 0 1 7
事業所等の所在地	〒	1	4	0	-	0 0 1 4	区市町村名 東京都品川区
	町名番地以下	大井4-11-8					
事業所等の延床面積	1,306.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有						
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)						
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他						
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当	
前年度の報告内容からの変更点							

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		30	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	59	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	2	t
	総計(④=②+③)	61	t
	二酸化炭素排出原単位(⑦=②×1000/事業所等の延床面積)	45.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ④	係数 ⑤	熱量 (GJ) ③=(④/1000)×⑥	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑧	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×④×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	6,608.1	45.00	297.4	0.014	14.8
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	91,885.0	9.76	896.8	0.489	44.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合 計						1,194.2		59.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,289.0			0.251	0.8
	公共下水道	☐	m ³	3,289.0			0.439	1.4
合 計								2.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×④とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×④とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
	設備保守対策			C115	事務用機器を業務終了時に停止
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

- ・エアコンの使用時間を短くし、扇風機や外気導入で温度を調節する。
 - ・エアコンを使用する場合は温度設定を節減。
 - ・衛生管理に注意した上で洗濯物の少量化と回数の削減
 - ・ジェットタオル使用中止
 - ・園児の数により部屋をまとめる
 - ・グリーンカーテン、遮光スクリーンの活用
 - ・プールの水を使った打ち水
- ※子どもの安全確保を優先する